

平成 25 年度第 2 回常陸太田市子ども・子育て会議

議事要旨

開催日時 平成 25 年 10 月 9 日（水） 午後 13 時 30 分～15 時 20 分

開催場所 常陸太田市役所 全員協議会室

出席委員 8 名

会議経過

1．開会

2．委員長あいさつ

「インターネットで茨城県子ども・子育て会議を検索すると、一番最初に常陸太田市が表記される。常陸太田市の取り組み姿勢が、他の自治体から注目されている。また、この会議の内容が、影響を与えているかも知れない。国の子育てに対する意気込みも、9 月 13 日の国子育て会議で議論となった子ども・子育て関連予算要求概要などから感じることができる。国の動向に注視しながら、私たちは、常陸太田市の効果的な子育て支援となるよう、積極的な姿勢で取り組んでいきたい。委員の皆様のご協力をお願いします。」

3．議事

(1) 子ども・子育て支援ニーズ調査票（案）について 13：40

事務局から資料 1「ニーズ調査に係る修正箇所論点について」を説明

（委員意見）

調査票・問 1 は町名を記入するとのことだが、子どもの少ない地域の親は、生年月を記入するため個人が特定されるのではという不安があると思う。「協力のお願い」の文章の「回答者個人が特定されたり・・・」に下線を引くなど強調してはどうか。集計単位は町名ごとなのか。

（事務局）

保護者の不安が取り除けるように強調した表示にするなど検討する。回答者には町名記載としながら、集計単位は中学校区で調整していくことを考えている。

（委員意見）

今回のニーズ調査票は設問が多いので、回収率が下がらないか不安である。国の指針があり質問項目を減らせないなどの制限があることも理解できる。ニーズ調査回収対策も重要課題。幼稚園や保育園に回収のお手伝いを依頼するとのことだが、回収箱などを用意してほしい。

（事務局）

ぜひ回収にご協力いただきたい。また、幼稚園や保育園に回収のお手伝いを依頼することになるが、回収した数の割合が、在園児童の数が多く、在宅児童の数が低くなるといった偏った傾向になることも不安視されている。

(委員意見)

在宅児童の回収率確保のためにも、子育て支援センターや市役所、各支所などに回収箱を設置してはどうか。

(委員意見)

保健センターの健診のときに回収箱を設置してはどうか。

(委員意見)

保育園や幼稚園などで行う施設回収は効果的であろう。その反面、在宅世帯からの郵送回収は不確定。施設利用者からの回答が多く、在宅者からの回答が低くなる場合は、ニーズ調査の集計結果に偏りが出るとも考えられる。

(事務局)

第一には、回収率が確保されるように委員意見を参考に対策をしていきたい。確かに設問も多く、すべての設問項目を回答するにはおよそ40分はかかるだろう。回答者の負担感は推測される。忙しい日常生活の中で何回かに分けたら3日はかかるかもしれない。その意味では、調査の実施期間について、土・日曜日を2回組み込みよう配慮し、回収時期を設定したい。

(委員意見)

ニーズ調査対象数は。

(事務局)

就学前児童、未就学児童それぞれ300件ずつで合計600件。

(委員意見)

対象が全世帯でないなら、施設を通しての回収も郵送も同じなのでは？保育園も園児全員に送付されているわけではないし、誰に送付されているかもわからない。

(事務局)

今回の子ども・子育て計画では、保育園や幼稚園などの数量調査と需給計画がポイントになると考えている。ニーズ調査からどのようなサービスがどれだけ必要なかを数量的に考察する。これだけの統計結果があるので、これだけ必要という方向でサービスを提供していく。いわゆる、万一のためにあつた方がいい、これから努力する、頑張るといったあいまいさは排除される。大都市の保育園の待機児童対策の意味合いが強い計画だが、当市は少子化対策が最重要課題となっているので、少子化対策の施策を盛り込むことがもう一つのポイントとなる。

数量調査の例として、調査票・問11-1(家を出る時刻、帰宅時刻、通勤時間)、問14-2(幼稚園、保育園利用時間と希望時間)については、国のたたき台では1時間単位だが、それでは時間の単位が大まかすぎるので、事務局案として30分単位まで記載することとした。この点はいかがか。

(委員意見)

このニーズ調査を自宅で試しに回答してみたが、問11-1は30分単位の指定を読まずに〇〇時45分と回答していた。30分単位と指定しても、「□□分」があると、30分単位よりも少ない分単位で回

答する人が多くなるのではないか。

(事務局)

確かに 30 分単位の指定を読み飛ばして、分単位で回答する回答者が多くなるおそれがある。分単位で回答しても集計の段階で 30 分単位なり 1 時間単位にして集計することは可能である。そう考えれば設問中 30 分単位と指定する必要はないかもしれない。回答者の任意の時間で回答させ、集計の際に読み取れば良い。調査票・問 14-2 はどうか。

(委員意見)

働いている人にとって朝の 15 分と夜の 15 分では、同じ時間でも感覚的に違うので、回答しやすいように分単位で記載してもらったほうが良いのではないか。

(委員意見)

人によって時間の感覚やとらえ方がさまざまなので、集計で調整が可能であれば、調査票・問 14-2 も 30 分単位の指定は必要ないのではないか。回答者は自分の思うように記載すると思う。

(委員長意見)

30 分単位の指定の件は事務局で再度、検討をお願いします。また、集計の際にクロス集計をすることを考えると、数分単位では集計できない。30 分または 1 時間単位で集計するか、各設問を統一すべきではないか。事務局で検討をお願いします。

また、市民へ発送する前に確定したニーズ調査票を委員に配布することは可能か。

(事務局)

回答者の混乱を避ける意味でも、該当する設問の 30 分単位問題については、統一した考えにしたい。また、今後 10 月 18 日までにはニーズ調査票設問項目を確定させ、その後、印刷し、11 月中旬には発送したい。確定した後に委員の皆様にはお示ししたい。

(2) その他 14 : 50

事務局から資料 2 「子ども・子育て支援事業計画必須記載事項項目と現在の利用状況」を説明

(委員意見)

民間保育園を誘致する方針の説明があった。待機児童を解消することにはなるが、市全体で見れば少子化傾向であるにもかかわらず民間保育園を誘致する趣旨は？

(事務局)

幼稚園児童数については減少傾向にある。幼稚園によっては、集団における幼児教育（保育）が難しい状況になっていることも推測される。保育園児童数については保育の需要が高いため増加傾向となっている。今後、定員管理の面から公立幼稚園と公立保育園の整理が必要と認識している。

(委員意見)

市内の公立幼稚園には、規模が大きく新しい施設の幼稚園が存在するが、認定こども園の設置の予

定はあるのか。

(事務局意見)

認定こども園は幼保一体の施設となるため、幼稚園と保育園が隣接している園が対象になってくると考えている。数年後には一部の幼稚園で集団での幼児教育が維持しにくい状況が迫っている。幼保一体化は子ども達ばかりでなく、施設の有効活用も関係する。保育園在園の保護者から幼稚園のように教育をしてほしいという要望が出ている。認定こども園は、現在の幼稚園と保育園を利用する子どもが、帰宅時間は違うが、同じ施設で同じカリキュラムで生活することになる。

(委員意見)

保育園においても教育という言葉は使用していないが教育をしている。誤解を受けないように。

(委員長意見)

遊びと教育は別物ではなく、幼児期の成長過程においては、遊びの中にも教育があることを補足しておきたい。

(事務局)

国において認定こども園指導要領が作成される予定なので、当市で設置となれば、それにしたがって進めていきたい。また、保育カリキュラムや施設の運営などで、保護者の心配や誤解があれば、積極的に解消していきたい。

(委員長意見)

今後の話となるが、ニーズ調査の結果が出た後の計画策定をどのように進めていくか、委員の皆様にも他市の子ども・子育て会議ホームページをご参照いただきたい。ある都市の会議では、傍聴可能などところもある。子育てに関して、積極的な意見交換をしていきたい。

事務局より連絡事項

・今後のスケジュール（案）について説明

11月：アンケート発送

12月：回収及び集計

1月：県へ結果を報告

2月：第3回推進調整会議

3月：第3回子ども・子育て会議

・他市の子ども・子育て会議の状況等を子ども子育て通信メールで情報提供する旨を説明。

4．閉会 15：20

子ども・子育て会議委員名簿（委嘱期間 H25.8.1～H27.7.31）

	選出区分	氏名	役職名等	備考
1	医療関係者	尾内 映子	ひたちの中央クリニック院長	欠席
2	保健関係者	山口 喜市	茨城県常陸大宮保健所健康増進課長	
3	福祉関係者	黒澤 貴子	常陸太田市民生委員児童委員協議会主任児童委員	
4	企業関係者	木村 広美	(株)かわねや管理部総務人事課	欠席
5	教育関係者	古平 均	常陸太田市幼稚園長会長（のぞみ幼稚園長）	
6	保育関係者	増子 春江	(福) 西山苑よすみ保育園長	
7	学識経験者	中島美那子	茨城キリスト教大学文学部児童教育学科准教授	
8	子育て支援	秋山 智代	子育て調査隊ひこうき雲代表	
9	ボランティア関係者	小泉 正人	子育て上手常陸太田推進隊	
10	市民（保護者代表）	深作 泰宏	常陸太田市PTA連絡協議会会長（山田小）	欠席
11		水野 晃子	常陸太田市幼稚園PTA連絡協議会会長（金郷幼稚園）	欠席
12		海老根理恵	常陸太田市公立保育園保護者の会会長（金砂郷保育園）	

【事務局】（常陸太田市保健福祉部子ども福祉課 Tel72-3111）

役職	氏名	備考
保健福祉部長	埜 信 夫	
子ども福祉課長	塩 原 正 己	
子ども福祉課長補佐	荷 見 久 志	
子ども福祉課子ども家庭係長	大須賀 真吾	
子ども福祉課子ども家庭係	嶋 志 田 智	
子ども福祉課保育係長	安 嶋 勝 弘	